

1

病院関係者を名乗り電話をかけてきて「緊急手術が必要」等と言い不安を煽ってきます。息子からの電話も声の違いは病気が原因だと思わせます。

2

手術という心配事に加え、会社のお金の紛失、賠償の支払いと緊急事態であることを畳み掛け、正常な判断ができないように陥ってきます。



3

息子と名乗る男は手術で動けないので代理の者がお金を受け取りに行くという話のつじつまが合うように説明し、具体的な金額をあげて、受け渡すように約束を取り付けます。

4

「会社の上司の▼▼です」と名乗り電話の指示と間違い

ないことを示してきます。こうして電話でのやりとりを信じ切ってお金を渡してしまうと

後に本物の息子は病気になっておらず、会社のお金の賠償もありもしない話だと判明し、お金を騙し取られたことに気づくのです。

